

浮金小だより



発行：令和元年11月12日（火）

文責：浮金小学校長 松崎 健一

『最高』の学習発表会！

9日（土）の学習発表会には、多くの地域の方々
が来校されました。そして、たくさんの方に子ども
たちの発表を褒める言葉を頂戴しました。ありが
とうございました。ご覧いただいた皆様に、子
どもたちが決めたスローガン「みんなで力を合わ
せて、最高の学習発表会にしよう」の思いが伝わ
ったのだらうと思います。仲間を大切にすること、
家族や地域の方々に感謝すること、元気に明るく
学校で頑張っていること、そして何より浮金が大
好きであること……

今後も『元気で明るい自分たちの浮金小学校を
創る』ため、子どもたちを全力でサポートしてい
きます。

そして午後は



【「いのちのうた」の全校合唱】

浮金スポーツフェスティバル ～ありがとう浮小大感謝祭～

大成功！



久しぶりの
鼓隊でし
りです。か
りていた
ね。



お母さん
方も参加
です。頑
張って！



子どもたち
は、こんなに
高い玉入
れは初めて
です！おもしろ
い。



お父さんと消防団は、
本気（マジ）だった！



卒業生である
中学生も駆け
つけてくれま
した。先輩ありが
とう。

子どもたちはもちろん
ですが、大人も本気で
応援です。



小さな子ども
たちも元気い
っぱいです。



雲ひとつない爽やかな秋空のもと、
開催することができました。地域をあ
げて子どもたちを励まし応援してくだ
さる光景に感動いたしました。また、
学校が小さな子どもからお祖父ちゃん
お祖母ちゃんまでの、たくさんの笑顔
でいっぱいになりました。浮金の人と
のつながりの強さと温かさを感じまし
た。素敵な一日になりました。

森林環境学習 10月18日

小野町緑とふれあいの森公園に全児童で出かけ、森林学習として自然の中で活動してきました。小野自然倶楽部のゴリさんから、森林での活動から命の大切さ、危険から身を守ることについてのお話がありました。台風19号による災害についても取り上げながら、命を守ることについて熱く語っていただきました。

その後は、楽しい活動です。ワイヤースライダー、木登り体験、キックバイク、マウンテンバイクと学年に応じた活動を楽しみました。



結構スピードが出て「風がふいた」と感じました。歓喜の雄叫びが響いていました。



マウンテンバイクは、段差や板などがある決められたコースを走ります。普段とは違い運転が難しそうです。

キックバイクは、ほとんどの子が初挑戦です。すぐにコツをつかんで自由に走り回っていました。



まさに普段ではできない体験です。ハーネス等をつけて10mぐらい木を登ります。登りはスイスイ、下りは怖くてガチガチの様子でした。



こうした体験は、学校ではなかなかできません。体験をとおして全身で感じたり考えたりする時間でした。自然の中で学ぶ貴重な機会となりました。

校内マラソン記録会 10月15日

『元気』：最後まであきらめずに走りきってゴールする。
『明るく』：友達の力になる応援をする。



子どもたちは、力を出し切って走り、大きな声で応援して、元気で明るいマラソン記録会を創りました。保護者の皆様には、安全確保や温かい声援をいただきました。ありがとうございました。

《各学年の1位》

1学年：宗像 麻奈 2学年：折笠 結人 3学年：遠藤 弥武
4学年：生天目 太稀 5学年：宗像 春華 6学年：大和田 就斗



おめでとう

校長室より



私の母親は古殿町の出身です。私が中学生の頃までは盆や正月に婆ちゃんに会いに行っていました。一番の楽しみが出される料理で、その中でも、婆ちゃんが作ったうどんが好きでした。自家製の醤油を使ったうどんつゆが抜群に美味しかったのです。市販されている醤油ではどうしても出せない風味でした。どうしてもその醤油が欲しくて、一升瓶に入れて抱えて持ち帰ったことが何回もありました。そして、それを使ってうどんを食べるのですが何か違います。婆ちゃんが作ったうどんの味にはならないのです。

郷土の料理には、説明できない力があると思います。懐かしい味というか、体が覚えている味というか、とにかく食べるとほっとするのです。でも、自分ではなかなか再現できません。

先日の学習発表会後の昼食は、婦人会が中心となって、うどんを提供してくださいました。具たくさんのおうどん、抜群に美味しかったです。私の体が覚えている婆ちゃんのおうどんに近いものを感じました。余裕でたっぷり2杯を食べてしまいました。

話は変わりますが、先月の末に、『校歌を訪ねて』というテレビ番組の取材がありました。東日本大震災後に、福島・宮城・岩手の被災地の小中学校をまわり、復興支援の一つとして各校の校歌を紹介する番組です。子どもたちは元気いっぱい校歌を歌い撮影に臨みました。また、OBが歌うシーンも撮影しました。お仕事の合間をぬって5名の方が集まってくださいました。そのときの声高らかに校歌を歌う姿がとても素敵でした。多少音が外れようが堂々と歌う姿から、校歌への思いや母校への誇りを強く感じたのです。

故郷には大きな力があります。それは、人とのつながりであったり、忘れられない味だったり、校歌だったり、自分の体に心地よくしみこんでいくパワーだと思うのです。子どもたちの体には、今まさにジワジワとそのパワーが自然としみこんでいるはずです。そのパワーを自信に変えて、今後も頑張りたいと思っています。

